

大学・短大等との連携事業実施結果報告書

1 実施校 東北公益分科大学

2 . 実施日 平成20年 7月16日(水) 13時00分から14時30分まで

3 . 実施内容・参加者

講 師 株式会社荘内銀行 須佐恵美氏

内 容 社会人としてのマナー

参加者 3年生、75名

4 . この事業の感想

- 反面教師としての具体例がわかりやすくてよかった。普段から注意して生活したい。
- 気になっていたことを多く知ることができた。
- 今までのアルバイト先での失敗が、なぜ失敗したのか理由がわかりました。
- 改めて日本語の難しさを感じた。言葉遣いは、どこに出ても恥ずかしくないように自然と正しい言葉が出てくるようにしたい。
- 普段からの言葉遣い、ビジネスの「ほう・れん・そう」が大切である。
- イメージトレーニングをして、インターンシップに備えようと思う。
- 電話対応のために、早口にならないように普段から気をつけておこうと思う。
- 電話でも、上司からの指示を受けるときでも、復唱することが重要。習慣として身につけていないので、これから意識していきたい。
- 仕事場で話し掛けるときや電話対応の場合など、会社では礼儀正しい言葉遣いや姿勢でなければならないということが自覚できた。
- 名刺の受け渡しについては以前から知りたいと思っていたので、大変勉強になった。
- 気遣う気持ちを忘れずに職場体験に臨もうと思った。
- 視野を広げ、想像力を働かせ、心を動かして仕事ができるように頑張りたいです。
- 言われたこと+ で行動しなければいけないと改めて感じる事ができた。
- 自分の使っている言葉でも間違っているもの、ふさわしくないものが多いと思うので、直していかなければと思う。
- マナーは即身につくものではないが、日々練習していきたい。生活において意識していかなければならないことが、まだまだあると感じた。
- 笑顔、笑声の大切さが良くわかった。